

## 英語レベル9段階の概要

レベル1 Beginner	英語に触れることがほぼ初めての初心者。挨拶ができたり、簡単な単語は読める。コミュニケーションは、ほとんど全くとれない。
レベル2 Elementary 1	挨拶や自己紹介など、決まったパターンには対応できる。単語レベルでの受け答えは少しできるが通じないことも多い。予想できない質問に対しての対応は難しい。相手の言っていることは、簡単な質問ならなんとなく察しがつく。(英検4級)
レベル3 Elementary 2	単語を並べて発話でき、短い文章も文法のミスがありながら表現できる。自己紹介の延長で自分の話せる範囲が少しある。Why?への返答など、自分の意見をしっかりと表現することはまだ難しい。(英検3級、TOEIC400点)
レベル4 Intermediate 1	簡単な日常会話では、とぎれながら言いたいことはなんとか伝えられる。今まで単語やYES,NOでしか言えなかったことが、文章で表現できるようになる。発音は日本語に強く引きずられている。相手の言っていることは、ところどころ知らない単語があるものの日常会話ならだいたい理解できる。(英検2級、TOEIC600点)
レベル5 Intermediate 2	様々な文法を使い分けながら、日常会話を楽しむことができる。英語のリズムや相槌にも慣れてきたので、自然な雰囲気でも相手とやりとりできる。スムーズに話せるようになった反面、文法上の間違いはまだ時々みられ、表現もワンパターンになりがち。ドキュメンタリー番組のナレーションなども半分くらい理解できる。(英検2級、TOEIC700点)
レベル6 Intermediate 3	日常会話なら、まずまずのスピードで話すことができる。慣用句のバリエーションも増え、会話に深みが出てくる。ビジネスの交渉場面でも、なんとか商談に耐えられる。手紙や電子メールでも、自分が表現したいことを、それほど労せず書くことができる。(英検準1級、TOEIC800点)
レベル7 Advanced 1	日常生活はもとより、ビジネス場面でも本格的なやり取りができる。CNNニュースでは知らない単語がところどころみられるも、8割くらいは内容を理解できる。初歩的な通訳ができる。英語を初級から学んだ学習者が、「英語に不自由しない」と言えるにふさわしい目標レベル。(英検1級、TOEIC920点)
レベル8 Advanced 2	よほどの込み入った微妙なニュアンスを必要としないかぎり、日本語と同等に英語を使いこなせる。複数のネイティブスピーカーの中でも、心理的にも技術的にも全く対等なポジションでやりとりできる。英語を母国語としない英語学習者が、最終的に到達したいレベル。(テストでは測定不能)
レベル9 Fully Proficient	英語のすべての構造を完全に理解している。日本語と英語との区別がない、いわゆるバイリンガル。さらに、日本語と英語のそれぞれの利点を持ち合わせているので、一般のネイティブスピーカーより洗練された英語を駆使できる。英語を母国語とする環境で育った人でないと、到達が困難なレベル。(テストでは測定不能)